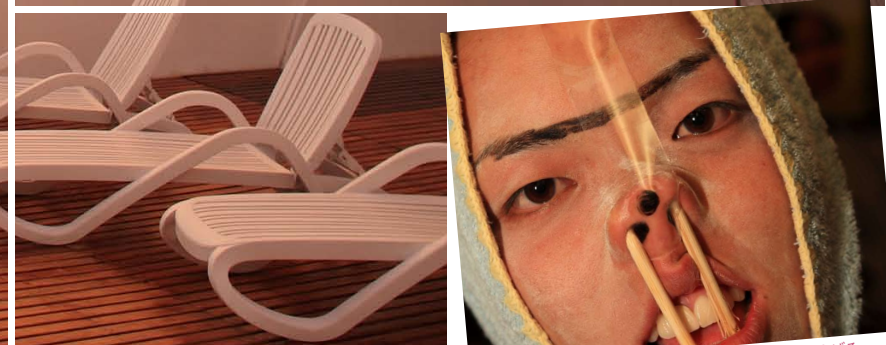
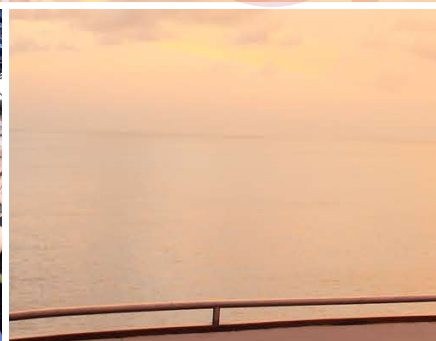
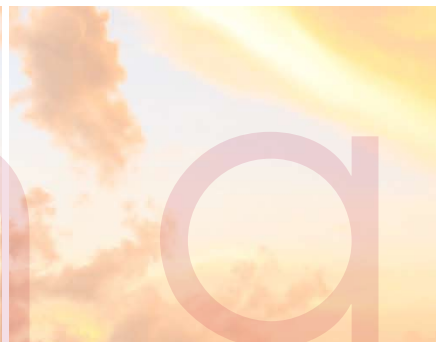
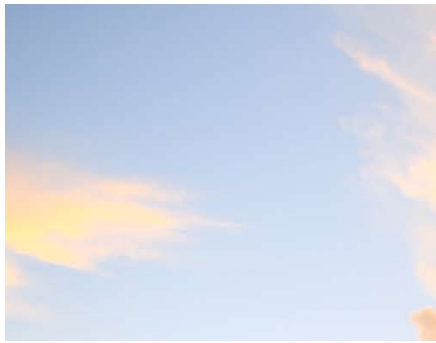




スクーバーエクスプローラー号
ダイブクルーズは
こんなに快適 & 面白い!!!

鍵井靖章の

「タイ陸 横断」

アンダマン海編

Photo&text/Yasauki Kagii
Special thanks/KATA DIVING SERVICE, A&A
Design/Maya



朝焼けのトップデッキは、素敵なクルーズライフの始まり告げる
盛り上がるダイブデッキのゲスト&ガイドの皆さん。これ誰……？

Andaman Sea & Koh Thao, Thailand
Web-lue 2008-2009. Winter





01/ ダイブデッキも広いので、みんなでこのように一斉にエントリーすることができます。
 02/ 広いリビングでのブリーフィング、映像機器を使用して丁寧にしてくれる
 03/ 真っ白な砂地を泳ぐタイマイ（スマラン諸島）
 04/ コンファイという熱気球にみんなの思いを書いて夜空に放つ
 05/ 屋外のBBQは美味しさとボリューム満点。ゲストのみんなも笑顔がこぼれる



03



04



01

02

Relax Diving

日中に4本のダイビングができる！ ゆとりのスケジュールが魅力

今回、スクーパーエクスプローラー号での乗船取材で改めて驚いたことがあった。それは、ダイブスケジュールがとても計画的で、快適に船上生活を送れたことだ。アンダマン海を走るダイブクルーズは、基本的にブーケットを出発して、スマラン諸島、コボン、コタチャイ、リチュエーロックを巡る。4エリアとも見られる生物が異なる素敵なポイントばかりで、どのエリア

も外すことはできない。しかし、この4つのエリアはそれほど近くなく、また、最短4泊5日で全てを踏襲するのだから、多少慌しいスケジュールも予想される。

しかし、今回のお世話になったスクーパーエクスプローラー号は、そんな余計な心配とは全く無縁で、快適にこの4つのエリアにエスコートしてくれた。そして何よりも嬉しかったのは、「日中に4本のダイビングを行える」、ということ。クルーズで在りがちなパターンは、4本目の最終のダイビングがサンセット、または、ナイトダイビングになってしまうことが多い。しかし、スクーパーエクスプローラー号では、明るいうちに、しっかりと4本のダイビングを楽しませてくれた。そしてダイビングの間は、快適＆広い空間でゆったりと十分に休憩をとることができる。旅の疲れを感じさせない。そこが嬉しい。またナイトもオプションで開催され、1日5本のダイビングを楽しむことができた。リラックス＆ダイビングを満喫した船の旅となった。



05

Andaman Sea, Thailand
 鍵井靖章の「タイ陸横断」アンダマン海編
 Web-lue 2008-2009. Winter

Richelieu Rock Point Guide

4つのエリアに散りばめられた 素敵な出会い

世界の他のエリアに比べても恵まれた環境にあるアンダマン海。太平洋とインド洋の魅力を兼ね備えた海はダイバーの刺激をくすぐる素敵な出会いが、散りばめられている。

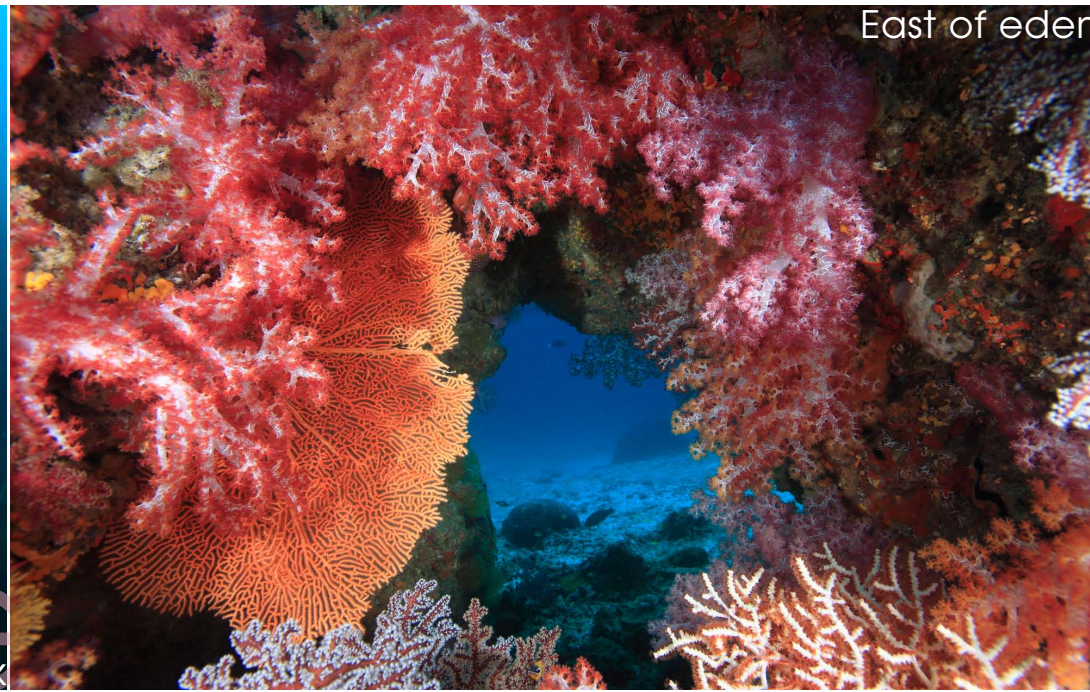
先述のとおり、スミラン諸島、コボン、コタチャイ、リチュエーロック、と個性豊かなダイビングエリアが勢揃いしている。スミラン諸島の印象は、どちらかというと白い砂地とサンゴ礁が広がる癒し系の「静」のエリアが多い。コボンやコタチャイは、マンタやレオパードシャークなどの大物がコンスタントに現れ、朝夕の魚たちの捕食シーンなどが見られる。どちらかというと、「動」の印象がある。そして、最終地点のリチュエーロックは、いつジンベイザメが現れてもおかしくないドキドキのポイントで、群れやマクロの生物も充実している。大きな山脈のような根を巡るダイビングは、期待感でいっぱいの思い出に残る1ダイブとなる。

リチュエーロックのトプリーフは、緑の藻類で覆われている。
まるで山脈を眺めているようだった

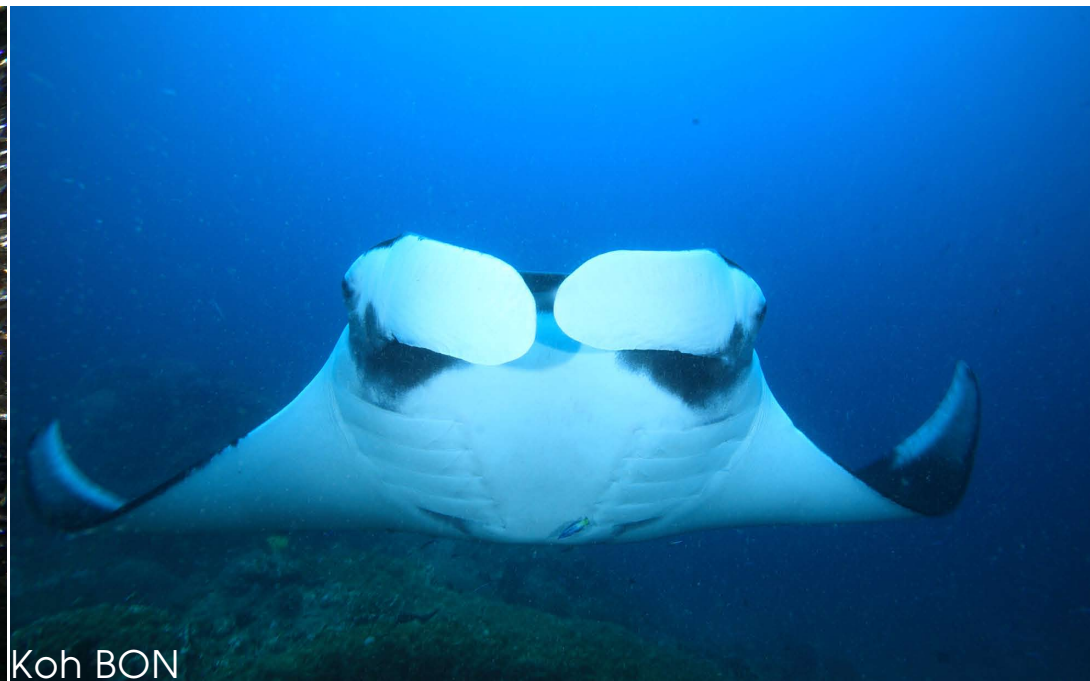
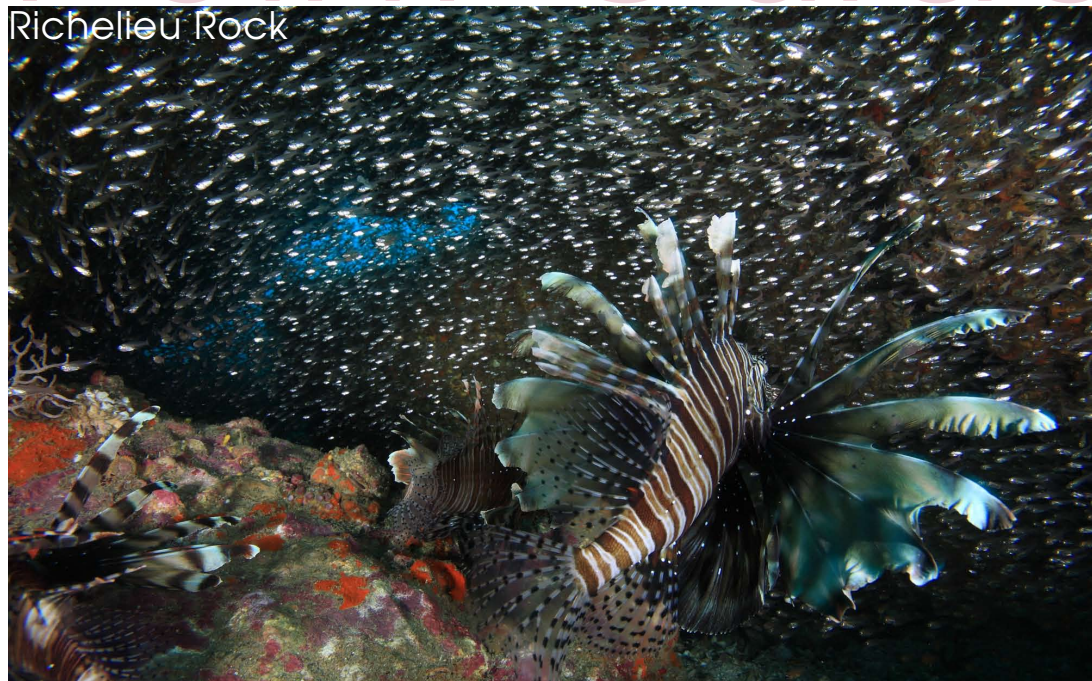
Andaman Sea, Thailand
鍵井靖章の「タイ陸横断」アンダマン海編
Web-lue 2008-2009. Winter



Richelieu Rock



East of eden



Koh BON

根待ちでジンベイザメとの遭遇を叶えてくれるリチュエーロック
 (上) ジンベイザメだけでなく、根の周辺にも「銀河のような海中風景」がある (下)

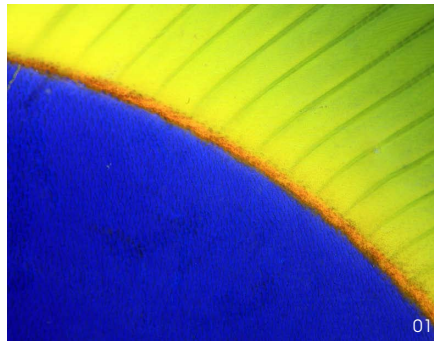
まるで迷宮の入り口のようなソフトコーラルの森 (上) マンタとの遭遇もクルーズの楽しみのひとつ (下)

Andaman Sea, Thailand
 鍵井靖章の「タイ陸横断」アンダマン海編
 Web-lue 2008-2009. Winter

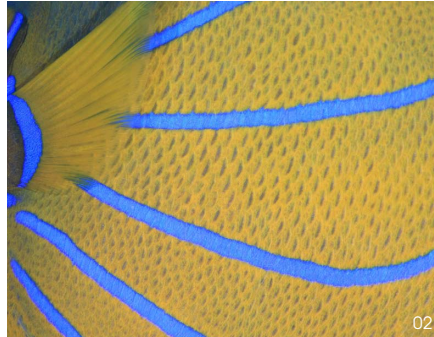




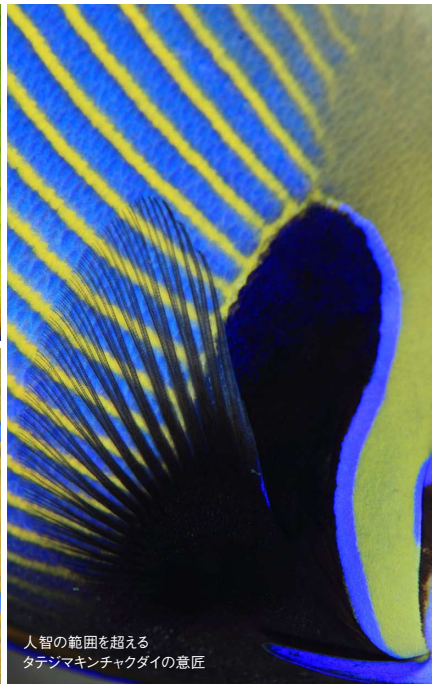
極彩色で擬態上手な
ニシキウライウオ



01



02



人智の範囲を超える
タテジマキンチャクダイの意匠

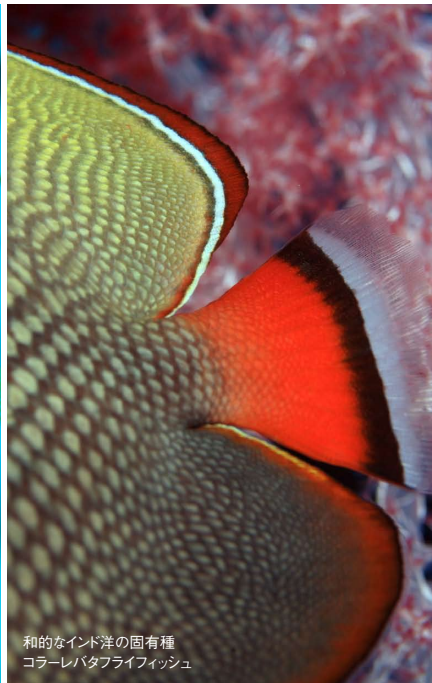
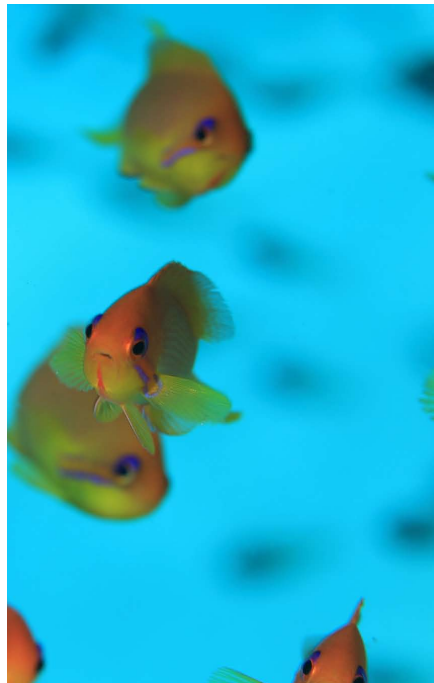
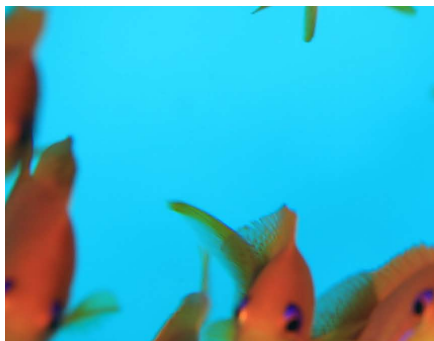


虹色のアオスジハタの瞳

多姿多彩なアンダマン海の魚たちは
タイの民族衣装のように煌びやかだ



キンギョハナダイたちの
可愛い視線



和的なインド洋の固有種
コラーレバタフライフィッシュ



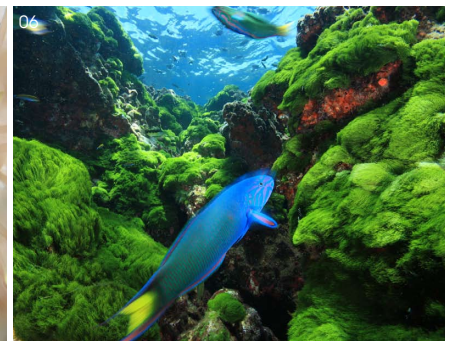
03



04



05



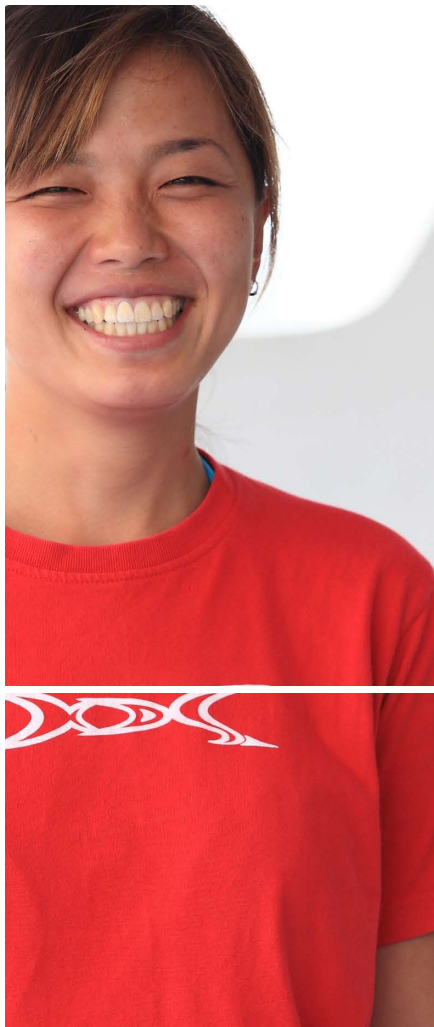
06

Andaman Sea, Thailand
鍵井靖章の「タイ陸横断」アンダマン海編
Web-lue 2008-2009. Winter

01/ ハウダブルーサージョンフィッシュの2色
02/ フヌケヤッコの体表
03/ ギンボのひょうきんな表情がかわいい

04/ やはり、撮影対象になってしまうカクレマンミ
05/ イエローバックフィギュラーも美しいモデル
06/ お調子者のオトメベラが良きモデルを演じてくれた





＊
北の国で育まれた天然少女
必聴、まぐろネタぶリーふいんぐ
＊
小葉松美穂
(ブーケット3シーズン)
＊

どうしてダイブガイドに？
出身が北海道ですから、暑いところに憧れがありました。一言で言うと、南国にいたかった……からです(笑)。どうすれば、南国に入れるのだろう？と考え、まずはワーキングホリデーでオーストラリアに行きました。ダイブマスター、インストラクターのライセンスを取得後、一度帰国。再び、南国を求めて、タイに来ました。

タイを選んだ理由は？
タイという国に来たかったからです(笑)。正直言って、来るときに海の情報はほとんど知りませんでした。少し知り合いから聞いた情報だけでした。しかし、実際に来てみて、特に1年目は、デイトリップのポイント(ラチャイ、ピビなど)をよく潜ったのですが、自分の知識にない魚ばかりで、興味深かったです。そして、2年目のスミランクルーズに来るようになって、見られる魚は、デイトリップのポイントと大きくは変わらないのですが、スケールの違いを感じました。例えば、魚の

群れ、個体の大きさ。そして潮の流れもです。

アンダマン海の魅力は？
ずばり、魚影の濃さです！

好きなポイント？
地形のポイントです。例えば、エレファントヘッドロックは吸い込まれそうなほど、高い岩が並んでいて、そこを泳いですり抜ける時、目の前に現れる景観にゾクゾクとします。空を見上げると星でなく、雲でもない回遊魚やタカサゴなどが舞っている感じが好きです。

ゲストへのメッセージ
潜れる限り、潜ります(年齢？いえ、体力的に……)ので、是非、もぐりに来てください。

南国を求めて
タイに来ました

自分の育った海をもっと知りたい

どうしてダイブガイドに？
小さい頃から海が好きで、スノーケルなどでよく遊んでいました。ダイビングを始めた切掛けは、祖父がブーケットに住んでいて、よく遊びに来ていたのですが、13歳の頃から体験ダイビングを始め、17歳でCカードを取得。カタDCで講習を受けました。そこで改めてダイビングにはまりました。一度、タイを見切って、いえ、IDCのためにハワイに行ったのですが、自分の育ったブーケットの海をもっと知りたくてダイブガイドとして戻ってきました。

アンダマン海の魅力は？
ハワイの海しか知りませんが、ここはとにかく魚影が濃い。固有種はもちろん、魚種がほとんどです。また、ソフトコーラルやハードコーラルも豊富ですし、マクロの生物はもちろん、運次第では大物にも会えます。僕は、ギャンブルみたいなダイビングが好きなんです(笑)。

好きなダイブポイントは？
スミラン諸島全域が好きです。ひとつ挙げるのは難しいです。スミランというそれほど大きくない範囲で表情がとても豊かなのです。白い砂地が広がる癒し系、または巨石の連なるダイナミックの地形、そしてまたその2つの混在。環境によって見られる魚も若干、異なるのも魅力です。

ゲストへのメッセージは？
言葉では言い表せないくらいたくさんの魅力がありますので、是非皆さん、ご自分の目で確かめて来てください。

たぐやくんと潜ると何が楽しい？
ガイドとしてさらに向上すべき課題ですが、自分が育ち、愛着を持った海で日々、魚と海について勉強しています。より個々のゲストのニーズに応えられるようなこれからもガイドをしたいと思います！

最後に尊敬する人は？
サムイの増子均さんです(笑)。

＊
若手筆頭
カプサイシン中毒のプリンス
＊
宮澤拓也
(ブーケット5シーズン)
＊



Staff Interview

Andaman Sea, Thailand
鍵井靖章の「タイ陸横断」アンダマン海編
Web-lue 2008-2009. Winter





*
年齢詐称の疑いもある
サービス最年少の期待ホープ

*
畑 隼 佑
(ブーケツ3シーズン)

*

どうしてダイブガイドに？

日本にいる時、コンビニで契約社員をしていました。そのまま、そこで社員になることも考えたのですが、10年後の自分に不安を覚え、一から何かを始めようかと。昔からファンダイバーだったので、海外でダイビングのプロになろうと決意しました。オーストラリアなどの選択枝もあったのですが、英語圏ではない場所が希望でした。そして、いろんな人から話を聞いて、タイへ来ました。ネットで情報を探しているときに、カタダイビングサービスを知り、最初の面接のときに、マネージャーにDMの取得コースの相談をしたら、「うちのDMコースは厳しいよ。うちで取れたら、ブーケットならどこでも通用する」と言われ、カタダイビングサービスでお世話になることを決めました。

アンダマン海の魅力は？

最初のダイビングのイメージが強いです。DMの講習中、デイトリップでスマランへ行きました。その日は透明度が良く、海にエントリーした瞬間に「なんてデカイ海なんだ!」と感動しました。アンダマンの海の魅力は1年通じて、水温が安定しているのです。

なんてデカイ海なんだ! と、
感動しました

が、乾季、雨季の違いで水中の様子が変わる点です。

好きなダイブポイントは？

ノースポイント（スマランNo.9）です。スマラン諸島の魅力のひとつは、東と西で地形が異なることです。シャークフィンリーフもそうですが、浅場は一面のサンゴ礁。深い場所はそそりたつビルのようなスケールの大きな地形。トラフザメや大型の回遊魚、根付いているタイマイなども魅力です。

ゲストへのメッセージは？

この海は1年通じて、潜ることができます。アンダマン海・スマラン諸島は、10月中旬～5月頭まで。その他はブーケット近郊のポイントであるビビやラチャイで楽しむことができます。とても魅力ある海です。その理由を是非、確かめて来て下さい。

しゅんすけくんと潜ると
何が楽しい？

僕はまだ22歳なのですが、「年ごまかしてるんじゃないの?」と言われることが多いのです。ですので、普通の22歳にはない落ち着きでみなさんのスキルや好みに合わせて、ガイドングします!

ええとこづくめのタイで
ええ仕事してまっせ〜

どうしてダイブガイドに？

まーこういう生活もいいかな? と思いついて、仕事と遊びが一緒です。ダイビングすると活動的な生活になるでしょ。この前の日本に行ったら、体重が+20kgになりました(笑)。日本は寒くて、部屋でお弁当食べて、ビールをたくさん飲んでいました……。ダイビングが好きで、自分で潜りたいけど、お金がかかる。でも仕事にしたら、お金を貰って潜れる。ええ仕事ですわ〜。

タイに来た理由は？

ダイビングインストラクターになるためにです。タオ島でOWを取得して、ダイブマスター講習は日本語で受けました。今では、日本語での講習もできます。日本語でのレスキューコースは、専門用語が難しかったですわ〜(笑)

アンダマン海の魅力は？

とにかく魚の色は派手ですわ。あと温かい。ドライスーツがいらないのがいいですね。ブーケットのダイビングのレベルは高いと思います。デイトリップもクルー

ズもええ海です。陸は熱帯のええ気候で、町には世界料理がある。英語で話ができることもええとこです。

好きなダイブポイントは？

リチュエローロックです。マクロが面白い! タツノオトシゴ、ニシキフウライウオ、フリソデエビなどいます。デカイものも好きですが、ダイビングをすればするほど、マクロに興味を持ちます。欧米の一般的なゲストはサメが好きですが、ガイドは経験が豊富だとやっぱりマクロが好きになります。

ゲストへのメッセージは？

来シーズンからもっと国際的なクルーズになる予定です。その雰囲気も楽しんで欲しい。是非、皆さん来てや!

ジョナサンと潜ると
何が楽しい？

私と潜ると自由が多い! 安全管理以外の時間は自由。ダイビング中、人気のある生き物以外はあまり見せません。あまりスレートに文字を書けへんし、正直あまり細かく生物を見せません。自由に楽しんで下さい!



*
日米和親条約の象徴
コテコテの関西弁を操るアメリカ人

*

ジョナサン

*

Andaman Sea, Thailand
鍵井靖章の「タイ陸横断」アンダマン海編

Web-lue 2008-2009. Winter



Information Link
<http://www.katadiving.net>

◀ 関連情報HPへ



01/まるでリゾートホテルのような広々とした快適な客室内
02/リビングで寛ぐと疲れもとれ、次のダイビングが楽しくなる
03/食事は、たくさんのお野菜が用意されるので嬉しい



04



04/ 船上のショータイムはスゴイことに……
05/ スーパーエクスプローラー号の全景
06/ コンファイなどクルーズ中にタイの文化に触れることができる



07/ ダイビングで腹ペこなお腹を満たしてくれる美味しい食事
08/ 今回、一緒に乗船したゲスト&スタッフ。ありがとうございました。
09/ モーケン族の村がある島に上陸観光
10/ 乗船している専属シェフは身体も大きいが気前も良い



カタダイビングサービス

1989年オープンのブーケットでも老舗のダイビングセンター。乾季は10名のスタッフを抱える人気のDCで、ガイドは少人数制のスタイルを維持する。これまでブーケットのダイビングをリードしてきた存在で、常に最前線にいる。北はスミラン、スリン。南はヒンデン、ヒンマンまで幅広く網羅し、常に情報発信を怠らない。最大の武器は、自社クルーズのスーパーエクスプローラー号。来年で5周年を迎え、より充実したサービスを展開している。



経験と知識が豊富なスタッフと活きの良い若いガイド陣が揃う

豪華ダイブクルーズ船・スーパーエクスプローラー号は、乗船中に思いに残る企画

が満載だ。まず、クイズ大会や仮装ショー、BBQパーティー（ラストナイト）など各種イベントが夜な夜な行われる。今回、びっくりしたのが、女性ガイドの美穂さん、昼前はテキパキと行動するかわいい女性だな、と思っていたら、いきなり田吾作のようなメーク&衣装で登場して、ゲストにも面白い仮装を強要する。美穂さんの素敵な変わりようには本当に参った。また、素敵だったのが、ソングランと呼ばれるタイ正月やクリスマス、また記念日に上げられるコンファイという小さな熱風船。これにゲストがそれぞれの願いを書いて夜空に放つ。タイらしい素敵な演出だった。今シーズンからは、節目のク

Diving Service

お楽しみ企画が充実のスーパーエクスプローラー号！

ルーズで、みんなの思いを乗せて飛ばす予定だ。そして夜以外にも、ダイビングの合間にモーケン族の村を訪れることができる。モーケン族は、以前はシージブシー（海の民）でスリン島に15年ほど前に移住した。高床式住居などで暮らす彼らの生活を少し見せてもらいながら、現地の人の様子を知ることができる。お手製のお土産なども子供たちが売っているので、是非、購入して欲しい。と、楽しみが満載のスーパーエクスプローラー号は、タイの乾期にあたる11月から5月まではアンダマン海クルーズで活躍。7月から10月まではタイの東側の、タオ島周辺でダイブクルーズを行っている。また昨年、ローシン・コークラクルーズ（6月末、10月上旬、1回1航海予定）も催行しているの

Travel

A&A

タイ旅行専門の旅行会社で、23年もの実績がある。自社の現地ランドオペレーターがバンコク・ブーケットにあり、何か起きた場合でもすぐに対応してくれる心強い旅行会社だ。日本国内では、東京本社、大阪、名古屋、福岡に支店をもつ。タイ国際航空のツアーブランド「ロイヤルオーキッドホリデイズ」の送客数世界第3位となる。
<http://www.aatour.co.jp/>

Andaman Sea, Thailand
鍵井靖章の「タイ陸横断」アンダマン海編

Web-lue 2008-2009. Winter



Information Link
<http://www.katadiving.net>

関連情報HPへ

サムイダイビングサービス
タオブランチ 本格始動！
私たちと潜れば、
タオの海はこんなに面白い！

鍵井靖章の

「タイ陸横断」 タオ島編

Photo&text/Yasauki Kagii
Special thanks/SAMUI DIVING SERVICE, AKA



豊かで面白くて、ヘンテコなタオの海が広がっているのだから、飛び込まずにはいられない！（※写真は、撮影のためにスタッフの皆さんにお願いしました（笑）

Kho Thao, Thailand
鍵井靖章の「タイ陸横断」タオ島編
Web-lue 2008-2009.Winter





*
タイの海の伝道師、
写真もビデオもお任せあれ

*
増子 均
(在住14年目)

*

どうしてダイブガイドに？
テレビの仕事をしている頃から、
日本のダイビングショップのお手
伝いをしていました。そのうち都
会での生活がイヤになり、ダイブ
ングの仕事を始めたいと思いま
した。そして、通年でたくさん潜
れる南のリゾートを選びました。

タイにきた理由は？
サムイ島に知り合いがいたので
すが、その方が日本人観光客
から「サムイ島でダイビングはで
きないのですか？」とよく聞かれ
たそうです。サムイ島はこれか
ら日本人観光客が増えるものと
将来性に期待ができました。そ
れから紆余曲折の後、個人的
に、その知り合いを頼ってサム
イ島にやってきました。

タオの海の魅力は？
まず、環境が特殊であること。
それに魚影が濃い。また変な
やつがたくさん見られます。変な
やつというのはマブタシマアジみ
たいな種類のものもそうですし、
存在や行動が変というものも含

まれます。例えば、レッドマージ
ンシュリンゴビーは全く逃げな
い。ハクセンタマガシラも逃げな
くて、うじゃうじゃ群れていて面
白いです。

好きなダイブポイントは？
ホワイトロックです。広いエリア
のなかに岩場、サンゴ礁、砂地
と様々な顔があります。それぞ
れの環境で特徴的な生物がい
ます。例えば、サンゴ礁ではア
ヤメエビス、岩場ではカメ、砂地
では共生ハゼなどです。

ゲストへのメッセージは？
タオの海は浅くて、流れが緩や
かで、非常に潜り易いです。そ
の上、ダイバーに物怖じしない
生き物たちなど、かなりユニーク
な顔を持っています。是非タオ
の海に潜りに来てください。

増子さんと潜ると
何が楽しい？
水中である程度は自由に楽しん
で頂きます。でもゲストのケアは
ちゃんとしてますよ(笑)

環境が特殊なタオの海に
是非潜りに来てください

人もご飯も気候も雰囲気も 全てが最高

どうしてダイブガイドに？
海で生活がしたい、島への憧れ
がありました。八丈島でDMコー
スを受け、その後ハワイを経て、
タイでインストラクターとして活動
し始めました。タイではブーケット
島、サムイ島、タオ島と島を渡り
歩いてます。ずっと田舎を求め
ていたら、最終的にタオ島に辿
り着いちゃいました(笑)

タイにきた理由は？
八丈島のダイビングの師匠から
紹介されました。最初タイにやっ
て来た時、アジアの他の国で生
活できるか不安でしたが、ほん
の3ヶ月の滞在の予定が今年で
10年目を迎えました。実際に生
活してみて、人もご飯も気候も
雰囲気も全てが最高でした(笑)

タオの海の魅力は？
まず、じっくりと生物が観察で
きることです。そして、タオの
海中と陸は非常に良く似ていま
す。生き物でごっちゃりとしてい
たり、景観や地形がダイナミック
であったり。それでいて、のん
びりしている。特に魚が逃げな
くて、真近で観察できるタオの
海は心が落ち着きます。

好きなダイブポイントは？
ツインロックです。砂地あり、サ
ンゴあり、魚もたくさん。個人的
には共生ハゼの観察、特にむ
ちむちしたギンガハゼが大好き
です。エビが1mもの道を作っ
ているのを見たりすると、とても楽
しくなり心配にもなります。
そして、太陽光が差し込む白い
砂地で漂っていると水の中にい
ることを忘れ、「ほぁーん」とする
のが気持ち良いです。

ゲストへのメッセージは？
タオ島は陸も海も時間がゆっくり
と流れています。田舎でありな
がら、ほど良くスーパーマーケット
や各国籍レストランなどもそろい、
島に調和しています。是非、リ
ラックス&癒されに来て下さい。

ヒロミさんと潜ると
何が楽しい？
水中でヘラヘラと笑ったりしま
す。また何やらブツブツと魚に話
し掛け、お客様にも話しかけて
ます。そんな変な私と、一緒に
水中で会話しましょう！

*
一見国籍不明。でも細やかな
サービスはやっぱり大和撫子

*
渡辺 広美
(タイ歴10年目)

*





*
独特の妄想ダイブと不思議会話術。

IGA ワールドへようこそ

*
五十嵐直樹

(タイ歴4年目)

*

どうしてダイブガイドに？

この仕事が好きそうだったからです(笑)。日本でバイトに飽き、何か面白いことがしたかった。また海外に住みたいという気持ちもあり、ネットでサムイダイビングサービスのことを知りました。そしてDM コースを受講し、さらにインストラクターとなり就職しました。

タイに来た理由は？

ケアンズでOW 講習を受けたとき、担当のインストラクターが「タイの海は面白い」と言っていたのを覚えていて、ネットでタイから検索しました。するとサムイダイビングサービスが検索の上の方にあり、連絡を取りました。募集と雇用のタイミングがうまくかみ合いました。

タオの海の魅力は？

とにかく魚が鈍感です。本当にダイバーを気にしません。イエローバンドフィジューラは視界の邪魔になるほどで、マスクに張り付きそうな勢いです。流れもないので、海自体も楽しめます。砂地もキレイな場所が多く、魅力は魚だけではないと思います。初めての方でもダイビングって面白い！ って思える海です。

特に魚の鈍感さは
海のイメージを一新させてくれます

好きなダイブポイントは？

Leam Thian (レムティエン) です。魅力は穴潜りができるところ。様々な穴は色々な場所に繋がっているので冒険的でとても楽しいです。また、大きく垂直に亀裂の入った岩があり、ダイナミックに「海が割れた」ような感じが好きです。

ゲストへのメッセージは？

ダイビングに飽きた人はタオに来てみると不思議な海を体験できます。特に魚の鈍感さは海のイメージを一新させてくれると思います。例えば、あるゲストは「パラクーダはビューンと泳いでいるイメージ」だったそうですが「この海では、クリーニングされ、ベタっとなっている。まったく動かない」そんな違いが面白いと言っていました。皆さんも是非、見に来てください。

イガと潜ると何が楽しい？

魚やその行動を見て、妄想ダイブについて話し合えます。例えば、「ゴマモンガラはヒゲを生やしたオジサン」、「共生ハゼのエビのかかあ殿下っぴりが堪らない」などです。またログ付けで不思議な絵も描きます！

ここで働くことができて
幸せです

タイへ来た理由は？

9年前にサムイ島へ観光で訪れた時の田舎のイメージが印象的でした。その際にOW講習の担当が増子さんと、当時は長髪でした(笑)。その後、日本で生活に疲れたときにまた、あのような田舎で豊かな気持ちで、のんびりすごしたいと。そして、昨年、実際にサムイに来たのですが、街の様子があまりにも都会的に変わっていました。少し残念に思っていたところ、現在のタオのオフィスに行かないかと誘われました。

タオの島の魅力は？

サムイ島と比べると静かで田舎。風や空気の動きものんびりです。常に自然の豊かさを感じながら、月や星、太陽などの動きを見ているだけでも楽しい場所です。海は、大物や深度にこだわらず、ただ水中に浮かんでいたり、水面を見上げたりするだけで楽しいです。

あかねさんから見た
スタッフの印象は？

増子さんは、寂しがり屋な感じ(笑)。お店閉めた後に、ご飯に誘ってくれるし、飲み会で解散

になっても、新しいCDを用意したりして、みんなを帰さなくします。雑誌での露出も多いので、大物だと思っていたら、親しみ易く、寂しがり屋さんでした(笑)。

広美さんは、海のスベシャルスト。タイの海が好きで、ダイビングが本当に楽しいんだと感じます。ただ、それだけでなく厳しさもあり、お客様へ迷惑を掛けないように日々、気を使われています。いがちゃんは3年目で髪の毛を伸ばして色気付きました。私より年下ですけど、先輩です。親しみやすく、相談もできます。ただ、健康面が気になります。ママー(インスタントラーメン)やポテチばかり食べていますので……。

タオ島に興味がある
ゲストへメッセージ

タオ島は海だけではなく、陸でも自然がたくさん残っています。私も休日は島を巡って、自分なりのビューポイントや居心地のいい場所を探しています。これが本当に楽しいんです。まだ知られていない素敵な眺望の場所がたくさんあります。町に置いてあるフリーペーパーなども活用して海、山問わず自然観光を楽しんで欲しいです。

*
海、空、花、緑をこよなく愛する
ナチュラリスト、田舎大〜好き！

*
鈴木玲音

(タイ歴2年目)
「オフィスのスタッフ」

*





Chunpon Pinnacle



Chunpon Pinnacle

(上) ダイバーと泳ぐことを楽しんでいるかのようなジンベイザメ
(下) ハナビラクマノミの数の多さは半端ではない。偏った海の象徴のひとつだ

顔だけが泳いでいるようなツバメウオが集団でこちらに向ってくる

タオ島を訪れるダイバー憧れのダイビングポイントがある。チュンボンピナクル、サウスウエストピナクル、セイルロックの3つだ。どのポイントも魚影の濃さは圧倒的、それぞれ違った魅力を持つ。タオ島を訪れたならば、絶対に経験して欲しいポイントばかりだ。

チュンボンピナクル（ボートでの所要時間約50分）は、エントリーして、まずツバメウオの群れが視界に入る。ゆっくり接近していくと、フレンドリーに迎えてくれる。そして、根の周囲を潜っていくと、キンセンフエダイ、ホソヒラアジが大きな群れを作っている。狭い範囲に観察する根が集中しているために、たくさん泳ぎ回らなくてウォッチングを楽しめる。様々な魚種の群れが多く、魚に囲まれるイメージが強く残る。時に「触れるのではないか？」と思ってしまうことすらある。

これらのポイントはどこを向いても本当にお魚だらけだ。根の上にはハナビラクマノミのお城があり、中層にはイエローバンドフィジューラーの群れが泳いでいる。毎回ではないが、根の周り



Chunpon Pinnacle

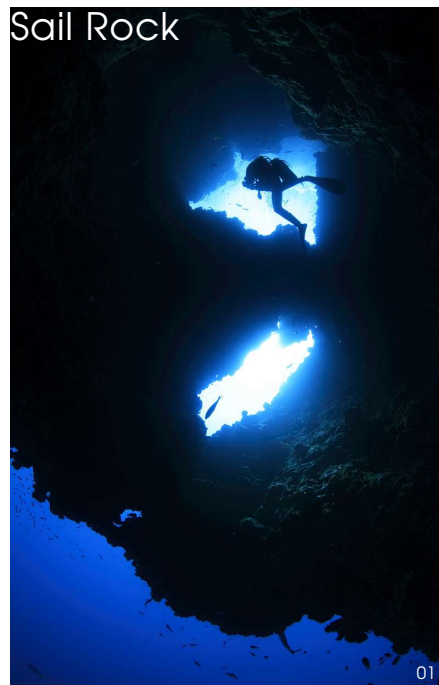
をグルグルと泳ぎ回るオグロメジロザメも見られる。また、チュンボンピナクルは、ダイビングでジンベイザメに会えるポイントとして世界的にも有名である。その年によって出現率は異なるが、一度出現すると根の上で大きく旋回を繰り返す。よく出現するジンベイザメの印象は「人好き、船好き」という感じで、特に4〜5mのおチビなジンベイザメは、長く泳げる確率が高い。1ダイブがまるまるジンベイザメというダイビングも夢では決してない。不思議な海だ。

タオの海の印象を絶対的なものにする 3大ビッグダイビングポイント

日本人とヨーロッパ人の混在するダイビングボートでは、デジカメで国際交流だ



Kho Thao, Thailand
鍵井靖章の「タイ陸横断」タオ島編
Web-lue 2008-2009.Winter



01



02

01/ 縦穴を潜り抜け潜降すると、すごい魚群が待ち構えている

02/ お魚まみれになったゲストダイバーも大満足

03/ ビックハンドルバラクーダの群れに誘われて豊穣の海を旅する



Sail Rock

毎秒ごとに形を変形させるホソシラアジの群れ。ダイバーなら一度は是非見てほしい

海の中に現れた「銀鱗の天の川」 タオ島の海中で夢を見る



03

サウスウエストピナクル（ボートでの所要時間約30分）も怒涛の魚影が見物である。時期によって多少、その量は変わるが、春先はホソシラアジ、キンセンフエダイ、オオカマスなど魚影が特に濃い。リーフには、白、緑などのブラックコーラルが連立し、賑やかな景観が広がる。根の周囲には大型のアカマダラハタ、ヤイトハタがよくクリーニングされていて、ゆっくり接近することができる。根のトップが浅いのでダイビングの後半もぎっしりとエビ、カニ、ウミウシなどの生物観察が楽しめる。離れ根も魚影が濃

く、ダイナミックな巨石とマッチングした壮大な海の景観を作りだしている。個人的にもお薦めのダイビングポイントである。

そして、セイルロック（ボートでの所要時間約2時間）だ。根の壁にチムニーと呼ばれる縦穴がある地形が特徴的で、上から光が差し込む様子はとても美しい。根を多い尽くすホソシラアジの群れはまるで天の川のように。ビックハンドルバラクーダとオオカマスのサイズの違ったカマスの仲間の競演なども見られる。また世代交代するギンガメアジの玉も見所のひとつだ。

Kho Thao, Thailand
鍵井靖章の「タイ陸横断」タオ島編
Web-lue 2008-2009.Winter



Information Link
<http://www.samuidiving.net>

← 関連情報HPへ

数が多いから、
逃げない個体を選んで撮影！
マクロの生き物

Micro World



運命的な出会いだった。写真のフタホシタカノハハゼは本当に素敵なモデルを演じてくれた。このような出会いがあるタオの海に感謝する

Kho Thao, Thailand
鍵井靖章の「タイ陸横断」タオ島編
Web-lue 2008-2009.Winter

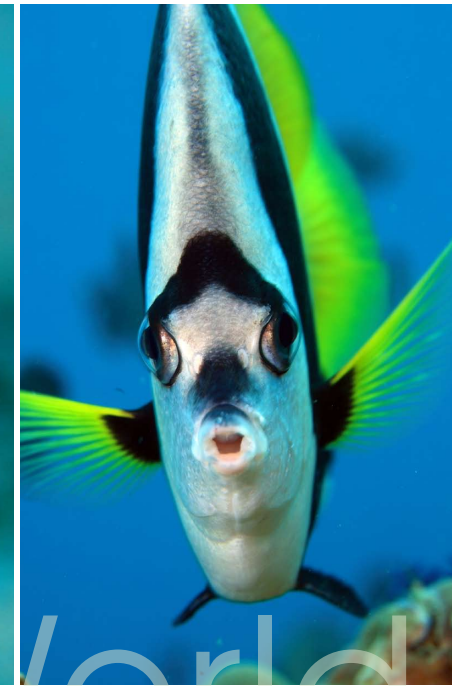




タオの海では、ゴルゴニアンシュリンプは比較的簡単に撮影できる



クリーニングを受けているゴマアイコは面白くなる



まるでお花屋さんに紛れ込んだようなタゲジマヘビギンポ



絶対に何か言いたくないはずのミナミハコフグの幼魚

Micro World

数が多いから、逃げない個体を選んで撮影！マクロの生き物

近場の島周りのポイントはほとんどが水深約18mの砂地から立ち上がる大きな根の地形が多く、平均水深を浅く、ゆっくりと潜ることができる。それぞれの環境に生息しているマクロの生き物は種類はそれほど多くはないが、とにかく数が多い。これがタイ湾の特長でもあり、人気の秘密。ハゼは、マイハゼは1ペアではなく、何ペアも確保できるので、逃げない個体と時間を共にしたい。また、お薦めのグリーンロックの岩壁は、まるでお花屋さんように色に溢れ、フォト派には素敵なキャン

パスが用意されている。他にも人気のある代表的なポイント、ツインロックは岩場、サンゴ礁、砂地とバリエーションに富み、マクロの被写体に事欠かない。砂地のあるパッチリーフにはクリーニングステーションも多く、恍惚の表情をする魚たちに出会うことができる。島周りのポイントは体験ダイビングや講習でも使用されるポイントも多く、何よりもリラックスして潜ることができることが嬉しい。いつもより落ち着いた気持ちで、タオ島の生き物たちと対話したい。

Kho Thao, Thailand
鍵井靖章の「タイ陸横断」タオ島編
Web-lue 2008-2009.Winter



コタオリゾットのプールからは周囲の景色を一望できる



01



02



03

01/レストランではボリューム満点で美味しい食事が楽しめる
02/本格的なリゾート気分を楽しめるコタオリゾットの客室内
03/ホスピタリティ溢れるタイ人のホテルスタッフ

Diving Service



04



05

04/デイトリップで使用するダイビングボート

05/陽気なスタッフが集うサムイダイビングサービス・タオブランチ

サムイダイビングサービス タオブランチ

増子さん、広美さん、いがちゃんの日本人インストラクターとヨーロッパスタッフが常駐するダイビングサービス。島の南にある豪華リゾート・コタオリゾットに併設される。実績のあるサムイダイビングサービスの「たおみせ」として、2005年からタオに拠点を置く、2007年からタオブランチとして本格始動。1グループ最大4名の少人数制でアットホームな雰囲気を楽しませてくれる。所有する大型のダイ

ビングボートは25名乗り。島の南側に位置するために、東側のポイントやセイルロックなどのポイントにもアクセスし易い。スタッフのみんなは被り物などの仮装好き(笑)

<http://www.samuidiving.net>

Resort

発展する「コタオリゾット」

島の南にあるチャロックバンカオという静かな湾に位置する老舗の豪華リゾート・コタオリゾット。コテージタイプなどの建ち並ぶ海岸線のビーチリゾートエリアと2008年にオープンした山側のパラダイスリゾートのふたつの魅力的なエリアを持つ。ビーチリゾートエリアは海岸線に近く、ビーチパラソルが並ぶプライベートビーチがある。またパラダイスリゾートからは、チャロックバンカオやシャークベイの絶景を見下ろすことができる。どちらからも海を一望できるレストランとプールがあり、宿泊ゲストはふたつのエリアでその施設を併用することができる。最終日のように時間に余裕がある日は、パラダイスリゾートで食事をしたり、プールで時間を過ごすなどお薦め。サムイダイビングサービス タオブランチがビーチリゾート内に併設されているので、ダイバーにはとても便利。また、陽が暮れる頃になると、レストランやプール

などがライトアップされる。敷地内はオレンジ色の光に溢れ、アバンギャルドな雰囲気となり、夜のリゾート気分をより満喫できる。コタオリゾットは、海もリゾートライフも楽しみたいダイバーにとってもお薦めだ。

Travel

A&A

タイ旅行専門の旅行会社で、23年もの実績がある。自社の現地ランドオペレーターがバンコク・プーケットにあり、何か起きた場合でもすぐに対応してくれる心強い旅行会社だ。日本国内では、東京本社、大阪、名古屋、福岡に支店をもつ。タイ国際航空のツアーブランド「ロイヤルオーキッドホリデイズ」の送客数世界第3位となる。
<http://www.aatour.co.jp/>

Kho Thao, Thailand
鍵井靖章の「タイ陸横断」タオ島編
Web-lue 2008-2009.Winter

